

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第66期第3四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 キング工業株式会社

【英訳名】 KING INDUSTRIAL CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 廣澤 清

【本店の所在の場所】 東京都台東区元浅草二丁目7番13号

【電話番号】 03(3833)9651(代表)

【事務連絡者氏名】 経理課長 大宮 繁行

【最寄りの連絡場所】 茨城県つくば市寺具1395番地の1

【電話番号】 029(869)2001(代表)

【事務連絡者氏名】 経理課長 大宮 繁行

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期
会計期間	自平成23年1月1日 至平成23年9月30日	自平成24年1月1日 至平成24年9月30日	自平成23年1月1日 至平成23年12月31日
売上高 (千円)	3,839,145	4,113,700	5,121,051
経常利益 (千円)	127,642	144,862	125,113
四半期(当期)純利益 (千円)	120,284	97,154	144,993
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	120,239	99,125	142,586
純資産額 (千円)	1,731,241	1,852,576	1,753,451
総資産額 (千円)	3,198,173	3,367,533	3,213,449
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.78	5.47	8.17
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.9	53.9	53.4

回次	第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.62	0.73

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第65期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより一部に緩やかな回復の兆しが見られたものの、長期化するデフレや円高に加え、ユーロ圏の債務問題を背景とした海外経済の減速など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な営業活動に取り組み、技術開発力の強化、経費の節減等諸施策を展開いたしました結果、全体の売上高は41億13百万円（前年同期比7.2%増）、経常利益は1億44百万円（前年同期比13.5%増）と四半期純利益は97百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

(鋼製品関連事業)

鋼製品関連事業につきましては、積極的な営業活動を展開いたしましたが、売上高は11億16百万円と前年同四半期と比べ2百万円減収（前年同期比0.3%減）になりました。

(デンタル関連事業)

デンタル関連事業につきましては、競争激化の中で新規開拓及び買替需要発掘に努めました結果、売上高は11億78百万円と前年同四半期と比べ74百万円増収（前年同期比6.7%増）になりました。

(書庫ロッカー関連事業)

書庫ロッカー関連事業につきましては、工場の生産力向上に努めました結果、売上高は10億96百万円と前年同四半期と比べ48百万円増収（前年同期比4.6%増）になりました。

(OAフロア関連事業)

OAフロア関連事業につきましては、売上高は1億20百万円と前年同四半期と比べ85百万円減収（前年同期比41.7%減）になりました。

(自動車関連事業)

自動車関連事業につきましては、売上高は5億35百万円と前年同四半期と比べ2億36百万円増収（前年同期比79.1%増）になりました。

(その他)

その他の売上高は67百万円と前年同四半期と比べ4百万円増収（前年同期比7.4%増）になりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は33億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億54百万円増加しました。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金の増加 1 億91百万円等により、1 億94百万円増加しました。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、有形固定資産の減少46百万円等により、40百万円減少しました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、賞与引当金の増加63百万円等により、72百万円増加しました。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、退職給付引当金の減少14百万円等により、17百万円減少しました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、四半期純利益97百万円等により、99百万円増加しました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき問題

当第3 四半期連結累計期間において、当社の事業及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3 四半期連結累計期間において支出した研究開発費の総額は91百万円であります。

なお、当第3 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	71,000,000
計	71,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,760,000	17,760,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	17,760,000	17,760,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		17,760		1,090,800		64,000

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成24年6月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,730,000	17,730	-
単元未満株式	普通株式 22,000	-	-
発行済株式総数	17,760,000	-	-
総株主の議決権	-	17,730	-

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) キング工業 株式会社	東京都台東区 元浅草2-7-13	8,000	-	8,000	0.05
計	-	8,000	-	8,000	0.05

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	346,597	537,817
受取手形及び売掛金	1,007,703 ₁	1,004,045 ₁
商品及び製品	145,489	147,392
原材料	115,156	111,253
仕掛品	24,704	24,063
繰延税金資産	39,974	49,188
その他	799	808
貸倒引当金	1,108	703
流動資産合計	1,679,317	1,873,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	346,555	326,713
機械装置及び運搬具（純額）	143,099	113,401
土地	901,928	901,928
その他（純額）	2,774	5,339
有形固定資産合計	1,394,358	1,347,384
無形固定資産		
ソフトウェア	889	2,108
電話加入権	7,084	7,084
無形固定資産合計	7,973	9,192
投資その他の資産		
投資有価証券	55,674	61,411
敷金及び保証金	75,147	74,631
繰延税金資産	677	747
その他	300	300
投資その他の資産合計	131,799	137,089
固定資産合計	1,534,132	1,493,666
資産合計	3,213,449	3,367,533

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 848,831	1 856,105
未払金	153,966	137,355
未払法人税等	19,101	62,878
賞与引当金	31,119	95,117
その他	110,400	84,571
流動負債合計	1,163,418	1,236,028
固定負債		
退職給付引当金	152,558	138,327
役員退職慰労引当金	18,494	20,426
繰延税金負債	46,412	43,156
その他	79,114	77,017
固定負債合計	296,580	278,927
負債合計	1,459,998	1,514,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,800	1,090,800
資本剰余金	64,000	64,000
利益剰余金	563,373	660,528
自己株式	1,426	1,426
株主資本合計	1,716,747	1,813,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,292	79
その他の包括利益累計額合計	1,292	79
少数株主持分	37,996	38,753
純資産合計	1,753,451	1,852,576
負債純資産合計	3,213,449	3,367,533

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,839,145	4,113,700
売上原価	2,825,186	3,098,800
売上総利益	1,013,958	1,014,899
販売費及び一般管理費		
販売費	103,095	84,596
一般管理費	809,246	799,125
販売費及び一般管理費合計	912,341	883,722
営業利益	101,617	131,177
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	1,140	1,192
作業くず売却益	15,349	10,285
助成金収入	6,527	941
その他	7,763	6,197
営業外収益合計	30,787	18,620
営業外費用		
支払利息	4,542	4,567
手形売却損	162	-
その他	55	368
営業外費用合計	4,761	4,936
経常利益	127,642	144,862
特別損失		
固定資産除却損	-	8
特別損失合計	-	8
税金等調整前四半期純利益	127,642	144,854
法人税、住民税及び事業税	14,970	60,314
法人税等調整額	9,033	13,372
法人税等合計	5,937	46,942
少数株主損益調整前四半期純利益	121,705	97,912
少数株主利益	1,420	757
四半期純利益	120,284	97,154

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121,705	97,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,466	1,212
その他の包括利益合計	1,466	1,212
四半期包括利益	120,239	99,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,818	98,367
少数株主に係る四半期包括利益	1,420	757

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自平成24年1月1日
至平成24年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

当四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、当四半期連結会計期間末日が金融期間の休日でしたので、交換日に決済が行われるものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日手形は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	24,573千円	12,587千円
支払手形	14,433千円	31,263千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
減価償却費	60,901千円	53,243千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当第3四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当第3四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	鋼製品 関連事業	デンタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	O Aフロア 関連事業	自動車 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,119,213	1,104,469	1,047,970	206,233	298,780	3,776,668	62,477	3,839,145	-	3,839,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	37,003	-	-	37,003	-	37,003	37,003	-
計	1,119,213	1,104,469	1,084,974	206,233	298,780	3,813,671	62,477	3,876,149	37,003	3,839,145
セグメント利益	77,581	46,379	73,438	13,722	1,685	212,807	40,689	253,496	151,879	101,617

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物等の賃貸を行っております。
 2 セグメント利益の調整額 151,879千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	鋼製品 関連事業	デンタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	O Aフロア 関連事業	自動車 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,116,367	1,178,523	1,096,242	120,256	535,203	4,046,593	67,106	4,113,700	-	4,113,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	33,588	-	-	33,588	-	33,588	33,588	-
計	1,116,367	1,178,523	1,129,830	120,256	535,203	4,080,181	67,106	4,147,288	33,588	4,113,700
セグメント利益	106,158	55,300	73,749	18,839	3,019	257,067	31,729	288,796	157,618	131,177

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物等の賃貸を行っております。
 2 セグメント利益の調整額 157,618千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益(円)	6.78	5.47
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	120,284	97,154
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	120,284	97,154
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,752	17,751

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

キング工業株式会社
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員 業務執行社員	公認会計士	梅 林 邦 彦 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	山 村 浩 太 郎 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	千 保 有 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているキング工業株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、キング工業株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。